

割れ窓理論 (Broken Windows Theory)を紹介します

「割れ窓理論」は、軽微な犯罪も軽微な段階から徹底的に取り締まることで、凶悪犯罪を含めた犯罪を抑止できる、とする環境犯罪学上の理論で、アメリカで考案されたものです。

割れ窓理論は、治安が悪化するまでには、次のような経過を辿るとしています。

- ①一見無害な秩序違反行為が野放しにされる（例：建物の一枚のガラスを割られたまま放置しておく）と、それが「誰も秩序維持に関心を払っていない」というサインとなる。それによって、割られる窓ガラスが増え、建物全体が荒廃し、重大な犯罪が起きやすい環境を作り出す。
- ②すると、軽犯罪が起こるようになる。
- ③そして、住民の「体感治安」が低下し、秩序維持に協力しなくなる。それがさらに環境を悪化させる。
- ④しまいには、凶悪犯罪等が多発するようになる。

小海高校における割れ窓理論を日々の実践に重ね合わせたものです。参考にして欲しいと思います。

★トイレの使用法の確認を！ ～ハンカチ王子になろう～

諸君が授業を受けている最中、事務室の方が学校設備の整備をしてくれています。

先日、男子トイレ掃除をされた後、話をする機会がありました。それは、男子トイレのごみ箱に捨てられた大量のトイレットペーパーと自販機ジュースのパックやカップについてです。普段、トイレットペーパーは清掃時間に掃除担当の生徒が大便のところで必要な分だけ用意しています。ところが何者かによってなぜかトイレットペーパーが手洗い場に移動されるのです。『手を拭くために使っているとは思えない。おうちの人も、保育園の子じゃないんだから朝家を出るときハンカチを持って行きなさい』というものな。でもこれじゃあちよつとなあ』という話をしました。トイレでジュースを飲むのも・・・。

職員・来客者女子トイレで髪の毛を整髪している形跡も見えます。生徒は生徒用トイレを使用し、トイレで髪の毛を切ったりすることが絶対にならないようにしてください。

★交通安全意識強化

反射材が職員室教頭先生の処にあるので、ほしい人は来て下さい！あなたの命が大切！！

